

水とみどりと歴史の回廊マップ

上本郷
地
区



この地図を作るために廻ったお寺で「この地域の寺社は、風水に基づいて配置されている」というお話を伺いました。特にこの高台の地域には昔から言い伝えられている不思議なお話もあります。私たちと一緒にこの「七不思議」に彩られた上本郷にタイムスリップしてみませんか？



水とみどりと歴史の散策路（約4.6km）

1 かざはやじんじゃ 風早神社

鎌倉幕府の創立に大きな役割を果した千葉常胤（つねたね）（平将門の子孫）の孫で、風早庄（松戸市域北部、流山市域南部、埼玉県三郷市域にまたがる莊園）の地頭だった風早四郎胤康の屋館跡と伝えられています。

戦国時代には、庄内の祭神を一か所に勧請した風早庄の総代社として、小金城主高城氏より三百石相当の社地を受領し、天正19年（1591）には、家康より社領五石を寄進され、江戸時代には、朱印高五石を受け幕末に至っています。



3 カンスケ井戸

カンスケ井戸から高台へ井戸水を運んだことから「井戸坂」と呼ばれる石段があり、その斜面地下の竹藪内に「カансケ井戸」が現存します。かつては飲料水や農業用水として利用されました。現在は、整備され、緋鯉が湧水の中でのんびりと泳いでいる姿がみられます。



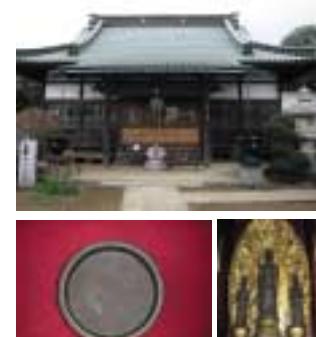
井戸坂

4 礼拝山 恭敬院 本福寺

本福寺は、時宗の第二世他阿上人（たあしょううん）により、鎌倉時代後期の嘉元（かげん）元年（1303）に開基されたお寺です。本尊は阿弥陀如来で、右側に觀音菩薩、左側に勢至菩薩（せいしじふさつ）の脇侍があります。これは長野の善光寺三尊仏と同じ配置なので「善光寺式」といわれています。この阿弥陀三尊立像は青銅製で室町時代の作であろうとされ、松戸市の有形文化財に指定されています。

また、お寺には、松戸市の有形文化財に指定されている「鉦鼓」（しょうこ）があります。この「鉦鼓」は嘉元元年の銘があり、作られた時代の古さで言えば日本で6番目に古いものとされています。

本福寺は、幕末の嘉永4年（1851）に長州藩（江戸藩邸）を脱藩した吉田松陰が東北遊歴の際に旅籠をさけ宿したお寺としても知られています。



【千葉氏と時宗】

時宗という宗派は、鎌倉時代に一遍上人により始められた宗教です。南北朝期の觀応2年（1351）、千葉貞胤が京都で、61歳で没し、時宗の僧によって葬儀が行われたことから、それ以後、千葉氏は、時宗を信仰するようになりました。千葉氏に信仰された時宗ではありますが、今日では、東葛飾地域でも僅か三ヶ寺しかなく、松戸市域に残る時宗のお寺は、本福寺のみです。

上本郷の七不思議

1 やおひくに 八百比丘尼の話

昔、風早神社の前の六軒新田（現在の上本郷駅周辺）に住む村人6人が、長者の屋敷で行われる庚申講（こうしんこう）に招かれました。ところが一人が、「今夜のご馳走に人魚の料理が出る！」と言う話を聞いてきました。そこで、皆で相談をして、「料理は食べずに持って帰り、途中で捨てよう。」と言う事になったのですが、6人のうち1人は耳が遠く、話がよく分かっていなかったので、人魚の料理を捨てずに、自分の娘に食べさせてしまいました。その娘は、不思議な力を持つ人魚を食べたので、80年も長生きし、比丘尼となって若狭の国（福井県）に住んだと言う事です。後に、松戸の千駄堀の村人が若狭に旅に出た時、この年老いた比丘尼に会ったそうです。

（比丘尼：出家して僧となつた女性のこと）

*現地に目印となるものはありません。

2 風早神社の大杉（①風早神社）

現在はもう枯れて無くなってしまいましたが、昔、風早神社の境内にとても大きな杉の木がありました。

あまりに大きな木だったので、太陽が昇るにつれて木の影が遠く離れた二ツ木村まで届いていました。その影になった田んぼは、米の出来が悪く、困った村人が巫女（みこ）に占つてもらったところ「影になった田んぼで採れた米を風早神社にお供えすべし」と言うお告げを受けました。

神社のお祭りの時にそのようにしたところ、それからは作物がよく実るようになったので、これ以後毎年の恒例となりました。

なお、平成8年には二代目となる杉が本殿裏手に植えられました。

二代目となる杉



3 斬られ地蔵（④本福寺）

昔、覺藏院というお寺がありました。このお寺で盆踊りがあった夜の事、踊りの輪の中にこのあたりでは見かけないひとときわ踊りの上手な男がいました。村の娘たちがその男にうつとりしているのを見て、面白くないと思った村の若者が、その男を斬りつけたところ、男は暗闇へと姿を消しました。

翌朝、その若者がお寺に来てみると、お地蔵さんの胸に大きな刀傷があったので、夕べの踊りの上手な男はお地蔵さんだったのかと驚いて、ひれ伏して謝ったと言います。

なお、覺藏院というお寺はもうありませんが、「斬られ地蔵」は本福寺に祀られています。

4 富士見の松（⑤本覚寺）

昔、本覚寺の南に一本の大きな松の木がありました。不思議なことに、その枝がいずれも富士山の見える西の方向に伸びていたので、「富士見の松」という名がついたと言います。

*現地に目印となるものはありません。



6 宮女の化けものの話（⑦明治神社）

昔、雷（いかずち）神社が祀られていた「いかずち山」に、夜な夜な真っ赤な袴をはいた宮女の化けものが現れて人を驚かせたそうです。

この「いかずち山」は龍善寺の付近だったといわれていますが、はっきりとは分かっていません。

なお、現在明治神社の社殿左側に奉納されている雷電宮ときざまれた石が雷神社のものではないかと言われています。



5 ゆるぎの松（⑥ゆるぎの松跡）

昔、上本郷の高台に枝ぶりの良い大きな松がありました。ある時、水戸黄門様の目に留まり、松の幹を撫でたところ、松はゆらゆらと揺れたそうです。それ以来「ゆるぎの松」と呼ばれるようになりました。しかし、この松は大正末期に枯れてしまったそうです。



7 ニツ井戸跡（⑧ニツ井戸跡）

もとはここに、つるべ井戸が二つ並んでいました。不思議なことに、どちらか一方の井戸が澄んでいると隣の井戸が濁っていたそうです。昔からこの地区では、「二ツ井戸があるのと他に井戸を掘ってはいけない。」と言われてきたそうです。



松戸市の伝統芸能として無形文化財に指定され、例年10月第2日曜日に行われています。風早神社と明治神社に伝承される五穀豊穣と悪霊退散を祈る大獅子・中獅子・女獅子による三匹獅子舞。一度は見学したいですね！

●お問い合わせ●

松戸市役所 都市整備部 都市緑化担当部 都市計画課 景観担当室
TEL. 047-366-1111（代表）/047-366-7372（直通）

【製作協力】

聖徳大学 児童学部 児童学科 児童文化コース
石川綾夏さん、関川雅美さん、塚原瞳さん
戸田晶子さん、星野睦瑞さん、増田恵理さん



※「七不思議」は、現地全てに目印や説明はありません。
このマップの説明文で確認して下さい。

1:5000
0 100 200 300m



戦い疲れた千葉貞貞

10 妙見神社

中根(1)

中根(2)

中根城跡

とのやま公園



新作(2)

